

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		夢んぼ（児童発達支援）				公表日	令和7年9月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		一人ひとりの発達に合わせて適切にスペースを作り工夫しています。子ども達が動きやすいスペースが十分にありま。	活動に応じて、集中しやすい環境作りや配置、グループ分けなどをおこなっていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		こどもの人数や活動内容によって職員の配置を変え、安全に活動ができるようにしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		教室が2階ですが、階段の降り口に扉が設置されています。物の位置や自分の場所が分かりやすいようにシールや絵で示しています。	個々の特性を捉え、一人ひとりに合った支援ができるように環境整備に努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		清掃や消毒を徹底し、清潔を保って過ごしやすい空間を維持しています。	長期休暇など、毎日長時間教室を使用する時もその都度片付けができるように整理整頓に努めています。	
	5	必要に応じてこどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		必要に応じてこどもが個別で使用できる環境となっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		ミーティングで目標設定や振り返りをおこない共有しています。こどもたちの様子を振り返り、次の課題をスタッフ間で共有しています。	円滑に業務が進むよう、職員間での共有を徹底し、無理・無駄のない業務遂行に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		ミーティングの時に保護者の方の意向等を確認しています。また評価表をいただいた時にも内容の把握をしています。	保護者の方からの声をもとに、改善すべきものは迅速に対応していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎月実施しているミーティングにおいて、職員の意見を把握と共有し業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		第三者による外部評価はおこなっていませんが、法人の役員会で評価を行い改善に努めています。	事業所判断ではなく、夢んぼ全体で判断する内容や客観的な視点が必要と考えています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		外部研修への参加の機会を設けています。研修委員による内部研修や外部講師による研修の機会を全職員に設けています。	今後も研修等の機会を作り、資質の向上を図ります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		定期的な面談を行い子どもと保護者のニーズを分析しています。	連絡帳や面談、送迎時などの保護者との会話から、ニーズや困り感、課題などの聞き取りができるように職員間での共有に努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		職員間で会議をおこない、ニーズや課題について考えていけるように体制を整えています。		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		支援計画の内容を職員間で共有し、計画に基づいた支援をしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		こどもたちの成長につながるよう、適切なアセスメントがおこなえるように努めています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		項目ごとに必要な支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		職員で打ち合わせをして新しいアイデアや取り組み方、こどもたちの様子などを共有できるようにしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		繰り返しが有効と考えられるプログラムに関しても、固定化しないよう内容に変化や別のアプローチを検討しています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		子どもの発達段階と活動を照らし合わせ支援しています。個別で行う活動と集団で行う活動を行っています。	職員間でのミーティングや研修などに参加し、職員個々のスキルアップを図り、より良い支援がおこなえるように努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	支援前に現場のスタッフと打ち合わせを行い一人一人に合った支援や連携が行えるよう確認しています。支援開始前に活動内容と注意点をチームで確認しています。	活動前には、その日の活動の目的や目標などを確認し、職員間での方向性の共有をすることで、より良い支援へと繋がっていきます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		午前の活動のあとに現場のスタッフと支援の振り返りや共有をしています。支援終了後、その日の振り返りを行っています。	その日の振り返りをするともに、職員間での気づきの共有ができるようにしていきます。	

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		その日の気づきはしっかり記録を行いスタッフ同士で共有して改善に努めています。毎日、記録をとることを徹底しています。	支援記録に記載された内容で、同じ活動であれば前回の様子から課題などを確認し、支援の検証などをおこなっています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にモニタリングを行い適切なモニタリングを行っています。	支援会議では、職員一人一人の意見を取り入れ、支援の見直しをおこなっています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議によく理解した者が参加しています。	児童発達支援管理責任者だけでなく、現場の職員も参加できる機会を設けています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		地域の関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。	今後も必要に応じて関係機関との連携を図っていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		定期的に保育所等訪問を行い情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		小学校や特別支援学校との情報共有と担当者会議などに出席し、関係機関との連携を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	3	発達支援部会などで連携し意見をいただいています。	発達支援部会での内容は、職員会で共有していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	法人内にある他の事業所のこどもたちと交流する機会があります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時や連絡帳など保護者と子どもの発達状況を共有できるようにしています。定期的な面談で共通理解を行っています。	その場で改善できない事もありますので、時間をかけて保護者との関係作りをおこなっていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	事業所で取り組んでいる療育を保護者の方にお伝えし、その効果や家庭でも取り組める内容をお伝えしています。	家族の方が参加できる研修等の情報提供を行っています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時や面談時に丁寧な説明を行っています。	わかりやすく伝えるとともに、変更などについても丁寧な説明をおこなっていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		子どもの最善の利益考慮して子どもや家族の意向を確認する機会が設けられています。	今後も迅速に対応していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		保護者に説明を行い、児童発達支援計画の同意を得ています。	今後も支援内容の説明をわかりやすく丁寧にっていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		定期的に面談を行い助言と支援を行っています。日々の些細な変化からご家族の悩み等をキャッチし、迅速に対応できるように努めています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	現在保護者会等の開催はしていません。保護者の方を対象とした講演会を実施しました。	必要に応じて検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		相談や申し入れがあれば素早くスタッフ間で話し合い対応するようにしています。相談や申し入れに対して迅速に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		インスタグラムやホームページを活用して、日々の活動の様子を発信しています。	今後もインスタグラム等、積極的に投稿していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報は鍵付きの書庫で保管し、事務所には防犯システムを設置しています。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		こどもや保護者に意志の疎通などの配慮をしています。	時代に沿って新しいものを取り入れていくなどし、意思疎通や正確な情報伝達に配慮していきます。	

の保 護 者 等 へ	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	現在は実施していませんが、地域のイベントに参加しています。	イベントを開催するなど地域との交流の機会を検討していきます。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		毎月職員間で、マニュアルを確認し、契約時や面談時に保護者の方へ周知できるようにしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		業務改善計画を策定し、定期的に避難、救出その他の訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		契約時や面談時、フェーズシート、連絡帳等で服薬や予防接種、てんかん発作等を確認しています。	今後も、必要に応じて状況を確認し、職員間で情報共有できるようにしていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		医師の指示書に基づいて対応しています。指示書の内容は記録し、職員で情報を共有できるようにしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全管理をするための訓練や研修を実施しています。	今後もいろいろな場面を想定し、安心して預けていただけるようにしていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		安全計画に基づく取組内容について家族等に周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		些細な事でもヒヤリハットと共有し、検証をおこなうとともに再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		定期的な虐待防止の研修と、毎月虐待防止チェックシートを用いてチェックと管理者による確認をしています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		事前に了解を得て支援計画に記載しています。どのような状況になったら身体拘束が必要で、その際の対応や記録についても説明をしています。	